

# 取扱説明書 **初版** リコイルスターター セルスターター兼用版

## 油圧送り式粉碎機 15馬力

### HG-GS-15SF リコイルスターター HG-GS-15SFE セルスターター

無鉛レギュラー  
ガソリン

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、  
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを  
読み取ることで、  
運転操作の仕方などを  
動画でご覧いただけます。  
詳細は、P.6をご覧ください。



# 目次

|                            |    |                 |    |
|----------------------------|----|-----------------|----|
| はじめに                       | 3  | 点検・整備の仕方        | 31 |
| 安全上のご注意<br>商品を長くご愛顧いただくために |    | 燃料の抜き方          | 31 |
| 安全にお使いいただくために              | 4  | エンジンオイルの給油、点検   | 32 |
| 粉砕機に係る安全事項                 | 4  | グリスの塗布          | 32 |
| 粉砕機の作業に係る安全事項              | 5  | エアクリーナーの清掃      | 33 |
| 安全ラベル                      | 6  | 点火プラグの点検・清掃     | 33 |
| 各部の名称                      | 7  | 刃の交換（三角刃の交換）    | 34 |
| 主要諸元                       | 8  | 刃の交換（チップナイフの交換） | 34 |
| 梱包部品一覧表                    | 9  | 回転刃ベルトの張りの調整    | 35 |
| 組立て                        | 10 | 回転刃のベルトの交換      | 36 |
| ホッパー（投入口）の取付け              | 10 | 油圧ポンプのベルトの交換    | 37 |
| シュータ（排出口）の取付け              | 11 | 油圧オイルの交換・補充     | 37 |
| タワーヒッチの取付け                 | 13 | 枝木が詰まった時        | 38 |
| リコイルガードの取付け                | 13 | タイヤの点検          | 39 |
| 送り力調整コントローラの取付け            | 14 | 長期間使用しない時       | 39 |
| 回転方向切替コントローラの取付け           | 15 | 故障と思ったら         | 40 |
| 安全バーの調整                    | 16 | 消耗品一覧           | 42 |
| バッテリーの配線方法（セルスターター）        | 17 | FAX 見積り・注文用紙    | 43 |
| 運転前の点検                     | 18 | 保証内容について        | 46 |
| 燃料の点検・補充                   | 18 | お客様ご相談窓口        | 47 |
| エンジンオイルの点検                 | 19 |                 |    |
| 作動油の点検                     | 19 |                 |    |
| ホッパー（投入口）の点検               | 20 |                 |    |
| シュータ（排出口）の点検               | 20 |                 |    |
| 潤滑油やグリスの塗布                 | 20 |                 |    |
| 運転操作の仕方                    | 21 |                 |    |
| エンジンのかけ方（HG-GS-15SF）       | 21 |                 |    |
| エンジンのかけ方（HG-GS-15SFE）      | 23 |                 |    |
| 安全装置                       | 26 |                 |    |
| エンジンの止め方                   | 26 |                 |    |
| 設置について                     | 27 |                 |    |
| 粉砕作業                       | 27 |                 |    |
| 枝木が詰まった時                   | 29 |                 |    |
| シュータ（排出口）角度・向きの変え方         | 30 |                 |    |
| 移動の仕方                      | 30 |                 |    |

# はじめに

このたびは粉碎機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。  
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。  
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

## 安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



**警告**

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



**注意**

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



**禁止**

取扱においてその行為を禁止します。



**指示**

指示に基づく行為を強制します。

## 商品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。  
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

## 粉碎機に係る安全事項



### 警告



### 禁止

- ・燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部(出力軸・フライホイール・ファンベルト・プーリー等)に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・運転中は絶対投入口、排出口をのぞき込んだり、排出口の下に入らないでください。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。






### 指示




- ・自動車の室内やトランクにエンジンを載せたまま車両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- ・停止中でも、直接刃物に触れないでください。怪我をすることがあります。
- ・エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- ・点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。




# 安全にお使いいただくために

## 粉砕機に係る安全事項

|  <b>注意</b>    |   |
|--|---|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>指定された用途以外には使用しないでください。</li></ul>  |
| <br><b>指示</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>燃料はレギュラーガソリンを使ってください。</li><li>長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。</li><li>給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。</li><li>部品交換は、純正部品を使用してください。</li><li>本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。</li><li>定期点検整備を行ってください。</li><li>子供の手の届かない安全な場所に保管してください。</li></ul> |

## 粉砕機の作業に係る安全事項

|  <b>警告</b>      |  |
|--|--|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。</li><li>動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。</li><li>ご使用時は、使用者から12m内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。</li><li>夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。</li><li>足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li><li>作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。</li><li>燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li></ul> |
| <br><b>指示</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>水平で安定した場所に設置してください。</li><li>適切な時期に休憩をとってください。</li><li>本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。</li><li>危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</li><li>持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。</li></ul>   |

|  <b>注意</b>    |  |
|--|--|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。</li><li>エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。</li></ul>  |
| <br><b>指示</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。</li><li>長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。</li><li>シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。</li><li>定期点検整備を行ってください。</li><li>本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。</li></ul> |

# 安全ラベル



**ホッパーの奥には絶対に手を入れないでください。**  
 万が一、枝木・竹等が詰まった場合は、取扱説明書や動画の指示に従ってください。

## 警告

- ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。
- 作業エリアに人や動物が入らないようにしてください。
- 動作中に、回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- 停止中でも、回転刃に触れると怪我をすることがあります。
- 投入口から、粉碎した枝が飛散することがあります。顔や手足を近づけないでください。排出口からは、粉碎したチップが勢いよく飛び出します。
- 運転中に投入口に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 投入した枝が詰まった時、逆回転（HG-GS-15SFのみ）でほとんどのものは解消されますが、万が一解消されない場合は、すぐにエンジンを止め、確実に停止していることを確認の上、取除く作業を行ってください。
- 動作中は、点検、整備を行わないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は、エンジンが熱くなっています。車やチップなどの可燃物を近づけないでください。火災になる恐れがあります。

## 注意

- 指定の粉碎最大径を超える枝木・竹等は投入しないでください。粉碎できません。
- 作業は、水平な地面で行ってください。また、舗装地、砂利、その他硬い地面で使用すると、振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 長袖、長ズボン、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。

このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」「点検・整備の仕方」等を動画でご覧いただくことができます。また、「整備手順」や「取扱いの注意」等最新情報を随時追加・更新していきます。ぜひご利用ください。

※お持ちのスマートフォンにQRコードを読み取る機能が搭載されていない場合は、QRコードを読み取るためのアプリをダウンロードしてください。

※本取扱説明書と動画では、手順が異なる場合があります。ご了承ください。

**刃の交換は、危険が伴います。ご自身で行う場合は、十分ご注意ください。**



|   |  |
|---|--|
| <b>警告</b><br><b>排ガスに注意</b><br>室内や換気の悪い場所での運転は、ガス中の危険があります。              | <b>警告</b><br>はさまれてけがをする恐れがあるので、後進するとき障害物に注意。                       |
| <b>警告</b><br><b>飛散注意</b><br>飛散により周囲の人に危害を及ぼさないよう注意で作業を行ってください。          | <b>危険</b><br>回転部に絶対触らないこと。けがをする恐れがあります。                            |
| <b>危険</b><br><b>火気厳禁</b><br>・給油時はエンジン停止。<br>・火災の危険あり。<br>給油口に火を近づけないこと。 | <b>注意</b><br><b>プラグ高圧注意</b><br>感電の恐れあり。運転中は、点火プラグや高圧コードに触れないでください。 |
| <b>注意</b><br><b>取扱説明書</b><br>ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで安全にお使いください。              | <b>注意</b><br><b>マフラー高温注意</b><br>マフラーに触るとやけどをする恐れがあります。             |

## 必ずお読みください。

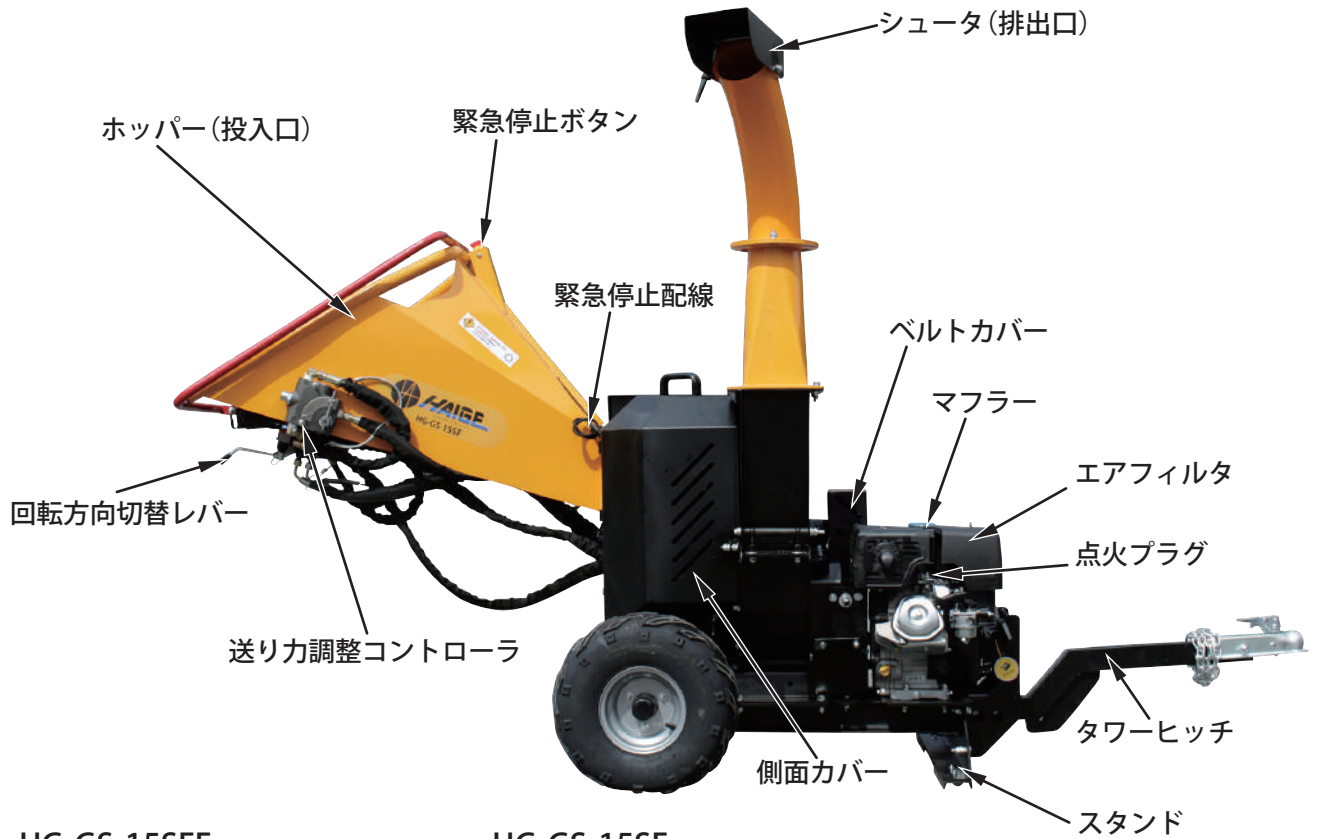
- ### 使用前の注意事項
- ・使用する方は必ず説明書をお読みください。
  - ・4サイクルエンジンオイル(10W-30)量を確認し指定量入れてください。
  - ・各ネジ等の緩みがないか確認してください。
  - ・作業前は、必ず前後左右方向の安全確認をしてください。
  - ・近くに人や動物がいないことを確認してください。
  - ・エンジンをかける前にホッパー(投入口)の中に何も入っていないことを確認してください。
  - ・指定の粉碎最大径を超える枝木・竹等は粉碎できません。
- ### 使用中の注意事項
- ・ホッパー(投入口)の前には絶対に立たないでください。
  - ・枝木・草などが詰まったら、エンジンを停止し取扱説明書または、動画をご覧ください、取除いてください。
  - ・緊急時は、緊急停止ボタンを押してください。

- ### 使用後の注意事項
- ・使用後は、本機に付着した汚れ・水分を取除き各部に防錆・グリスを塗布してください。
  - ・本機を1ヶ月以上使用しない場合は、燃料タンク・キャブレターの燃料を抜いてください。
  - ・保管する場合、エンジンが冷めた状態でシートなどを掛けてください。

### 故障?と思ったら

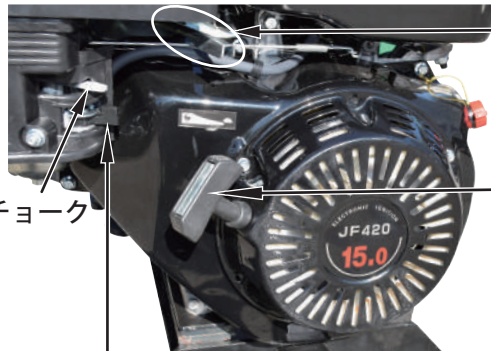
|                |  |
|----------------|--|
| 作業途中でエンジンが止まった | ガス欠、エアフィルタの汚れ、キャブレターの調整不良  |
| エンジンの回転が高い     | ベルトの緩み、ベルトの摩耗  |
| ベルト周辺から煙や火が出た  | 詰まり等でベルトに異常な負荷がかかっている  |
| エンジンがかからない     | 点火 燃料かぶり、キャップとの接続不良、汚れ、不良、プラグ イグニッションコイル不良<br>燃料が入っていない、燃料ホースの詰まり・漏れ、燃料タンク錆、又は異物混入による詰まり、キャブレターの詰まり(ニードル・バルブの固着)<br>オイルの入れ過ぎ |

# 各部の名称



HG-GS-15SFE

HG-GS-15SF



セルスターター  
リコイルスターター



## 主要諸元

| モデル名         | HG-GS-15SF                         | HG-GS-15SFE |
|--------------|------------------------------------|-------------|
| エンジン形式       | 4ストロークOHVエンジン                      |             |
| エンジン馬力       | 15HP                               |             |
| 総排気量         | 420cm <sup>3</sup>                 |             |
| 粉碎可能な枝径      | 最大120mm ※材の硬さ・曲がり具合・繊維の密度などで変わります。 |             |
| 粉碎可能な横幅      | 最大200mm                            |             |
| 始動方式         | リコイル式                              | リコイル式/セル式   |
| 燃料           | 無鉛レギュラーガソリン                        |             |
| ガソリン量        | 5.0L                               |             |
| エンジンオイル量     | 1.1L                               |             |
| 油圧オイル（作動油）量  | 4.0L                               |             |
| 刃（チップナーナイフ）  | 2枚                                 |             |
| 三角刃（ハンマーナイフ） | 5枚1組×2                             |             |
| 互換点火プラグ      | BPR7ES(NGK)                        |             |
| 重量           | 280kg                              |             |
| サイズ（L×W×H）   | 3000×1200×1750mm ※タワーヒッチ含む         |             |

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。



# 梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
  2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
  3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。



**警告**

- ・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. シュータ



C. タワーヒッチ



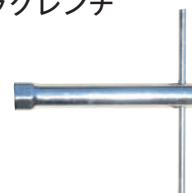
D. ホッパー (投入口)



E. リコイルガード



F. プラグレンチ



## ■組立時にご用意いただく工具類

- ・スパナ又はメガネレンチ  
10mm×2、13mm、16mm、17mm、18mm、19mm
- ・モンキーレンチ

# 組立て

## ⚠ 注意

- ・取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- ・組立て、運搬は2人以上で行ってください。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- ・平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

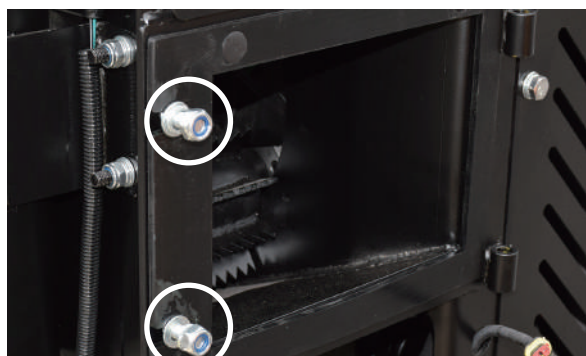


このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

## ホッパー(投入口)の取付け

本体にホッパー(投入口)を取付けます。

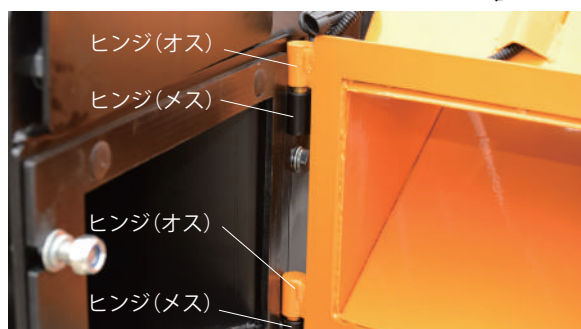
- 1 本体に仮留めしている平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナット(17mm)を一旦取外します。



ナット類を取外しの際、粉碎室に落とさないよう十分ご注意ください。



- 2 本体ホッパー(投入口) 取付位置のヒンジ(メス)にホッパー(投入口)のヒンジ(オス)を挿込みます。



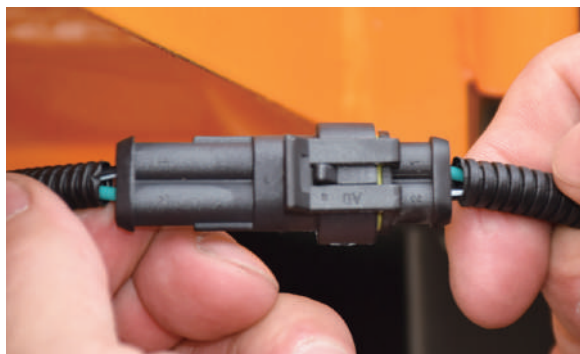
- 3 本体ホッパー(投入口) 取付ボルトに、平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットを取付け、スパナ(17mm)等で締付けます。



# 組立て



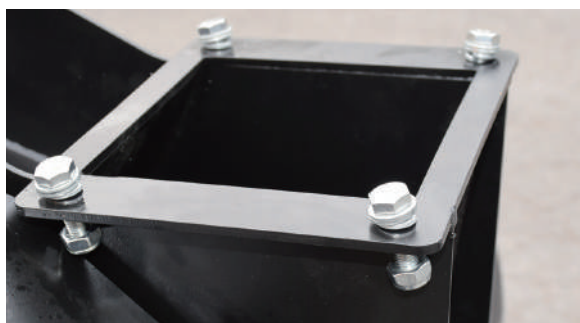
- 4** 本体から出ているコードのコネクタと、ホッパー（投入口）から出ているコードのコネクタを接続します。2カ所接続します。



## シュータ（排出口）の取付け

本体にシュータ（排出口）を取付けます。

- 1** 本体シューター（排出口）取付位置に仮留めしているボルト（16mm）・平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナット（17mm）を一旦取外します。

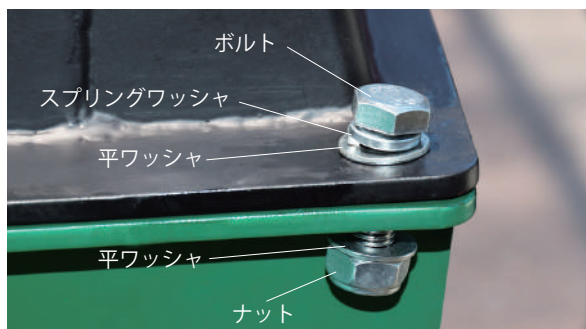


- 2** 本体のシュータ（排出口）取付口にシュータ（排出口）を乗せ、取付穴を合わせます。

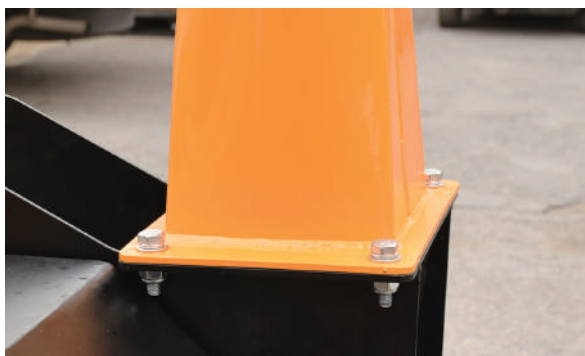


# 組立て

- 3** ボルト(16mm)にスプリングワッシャ、平ワッシャを通し、上から取付穴に挿込み、下から平ワッシャ、ナット(17mm)で留めます。



- 4** スパナ等で4カ所を均等にしっかり締付けます。



- 5** 排出方向を決め、17mmのスパナ等で4カ所を均等にしっかり締付けます。

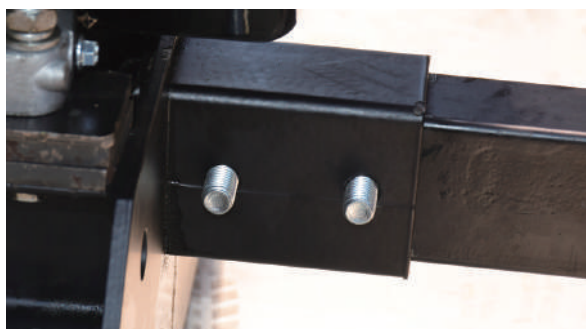


# 組立て

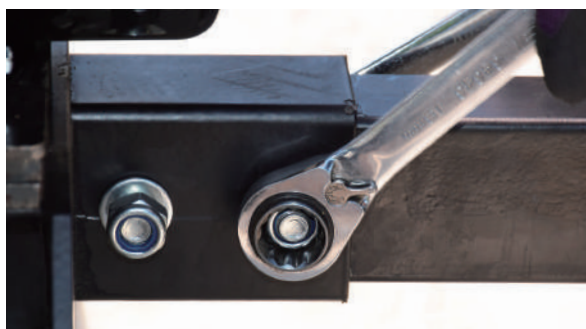
## タワーヒッチの取付け

本体に牽引用のタワーヒッチを取付けます。

- 1 タワーヒッチに仮留めしているボルト (17mm) ・平ワッシャ、ナット (17mm) を一旦取外します。
- 2 本体の取付穴とタワーヒッチの取付穴を合わせ、ボルトに平ワッシャを通し穴に通します。



- 3 平ワッシャ、ナットを取付け、スパナ等で締付けます。



## リコイルガードの取付け

本体にリコイルを保護するガードを取付けます。

- 1 リコイルガードに仮留めしているボルト (18mm)、スプリングワッシャ、平ワッシャ、ナット (19mm) を一旦取外します。



- 2 本体取付穴とリコイルガードの取付穴を合わせ、ボルトにスプリングワッシャ、平ワッシャを通し挿込み、反対側からナットで固定し締付けます。

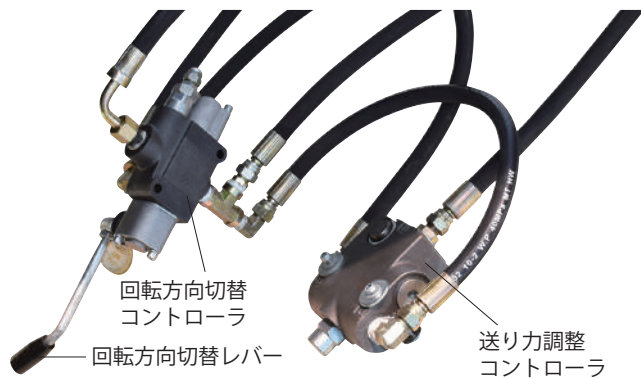


# 組立て

## 送り力調整コントローラの取付け

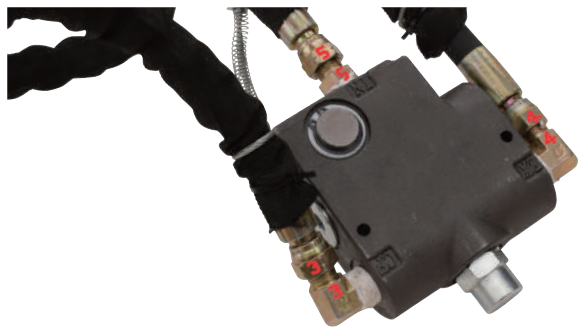
ホッパー（投入口）に送り力調整コントローラを取付けます。

※写真では油圧ホースにカバーが付いていませんが、ホースの保護のため現在はカバーが施されています。（2019.4. 現在）



**1** 各油圧ホースのシールテープを巻いている部分以外は、コントローラに仮留めされています。仮留めのホースを一旦外すことで本体に取付けやすくなります。

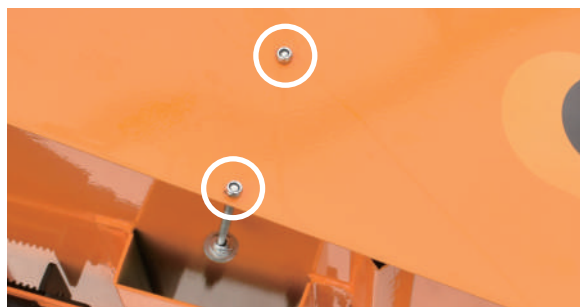
**2** ホースを外す前に必ず印をつけ、取付けの際間違わないようにします。



### ⚠ 注意

工場でオイルを入れて試運転しているため、ホース内に若干オイルが残っている場合があります。ホースを外す際、ホースよりオイルがたれることがありますので、床に使い古しの布などを敷いて行ってください。

**3** ホッパー（投入口）に仮留めしている外側の平ワッシャ、ナット(10mm)を一旦取外します。  
※ホッパー内にボルト類を落とさないようご注意ください。



**4** ホッパー内側のボルト、平ワッシャを押さえながら外側から平ワッシャを通しコントローラをセットし、平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットで固定します。



**5** 外した油圧ホースをもとに戻します。

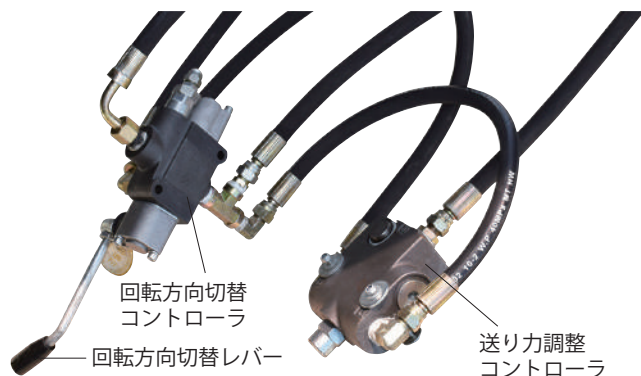


# 組立て

## 回転方向切替コントローラの取付け

ホッパー（投入口）に回転方向切替コントローラを取付けます。

※写真では油圧ホースにカバーが付いていませんが、ホースの保護のため現在はカバーが施されています。（2019.4. 現在）



**1** 各油圧ホースのシールテープを巻いている部分以外は、コントローラに仮留めされています。仮留めのホースを一旦外すことで本体に取付けやすくなります。

**2** ホースを外す前に必ず印をつけ、取付けの際間違わないようにします。



### ⚠ 注意

ホースを外す際、ホースよりオイルがたれることがありますので、床に使い古しの布などを敷いて行ってください。

**3** ホッパー（投入口）の底部分奥側に仮留めしているボルト、スプリングワッシャ、平ワッシャ、ステイを一旦外します。



**4** コントローラをホッパー下のステイに取付け、各ホースを接続します。



# 組立て

- 5** 下にたるんでいる油圧ホースを持ち上げ、ステイにボルト、スプリングワッシャ、平ワッシャで固定します。(ホースは2本程度)



## 安全バーの調整

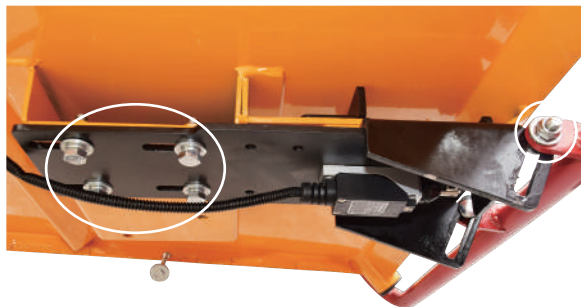
ホッパー（投入口）の回りに緊急時にエンジンを止める安全バーがあります。

この安全バーの押し込み量、硬さを調整することができます。初期設定では、押し込み量：大、硬さ：最大に設定されています。

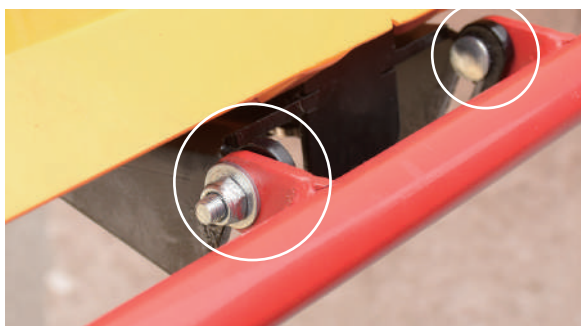
安全バー



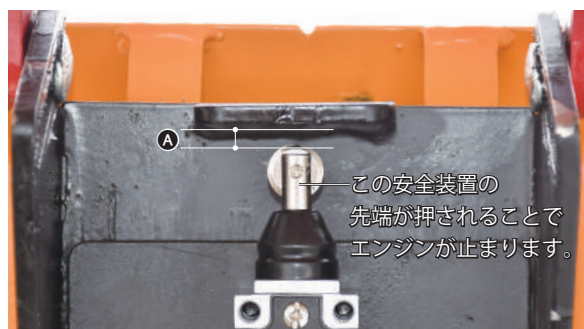
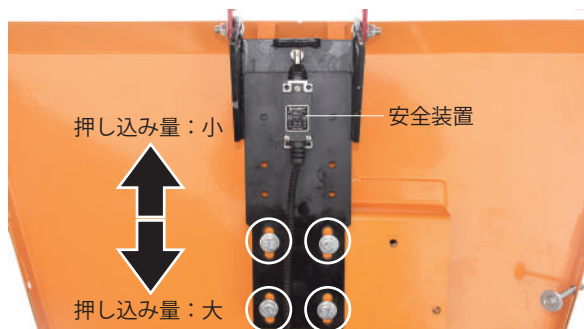
- 1** ホッパー下の○部分のボルト、ナットを緩めることで調整が出来ます。



- 2** ボルト、ナットを緩めることで硬さを調整出来ます。(緩め過ぎに注意)



- 3** ○部分のボルトを緩めることでステイが前後に移動できます。



- A**の隙間が小さいと安全バーを少し押し下げただけで安全装置が働きます。  
**A**の隙間が大きいと安全バーを下まで押し下げないと安全装置が働きません。

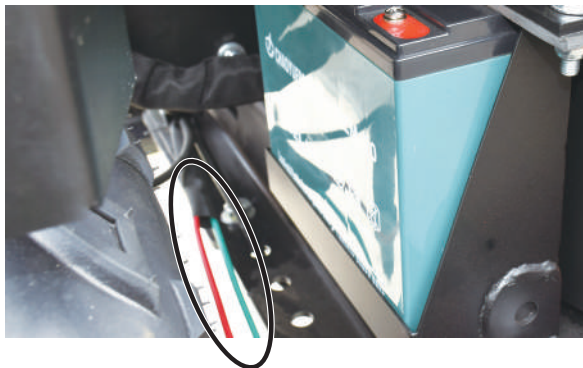


# 組立て

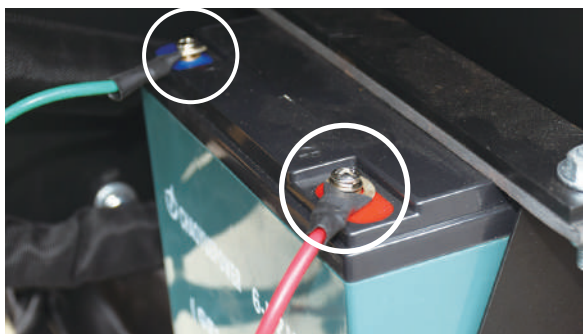
## バッテリーの配線方法(セルスターター)

※この配線方法は、HG-GS-15SFEのみ必要です。

- 1 本体下側から出ている赤と緑の線を確認します。



- 2 赤、緑の順番で配線をします。



**⚠ 注意**

配線は、念のため手袋着用で行ってください。

# 運転前の点検

## 警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

## 注意



指示

- ・燃料キャップは確実に締めてください
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。



このQRコードを読み取ることで、「運転前の点検」を動画でご覧いただくことができます。

## 燃料の点検・補充

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 使用燃料  | 自動車用無鉛ガソリン（レギュラーガソリン） |
| 燃料タンク | 5L                    |

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。  
出荷時は入っていません。

### 点検手順

- 1 燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。



- 2 少ない時は上限の位置まで補給します。

- 3 点検後、燃料キャップをしっかり締めます。

### 給油方法

- 1 無鉛ガソリンを少しずつこぼさないように、上限（赤い目印）の位置まで給油します。



赤い目印

- 2 給油が終わったら燃料キャップをしっかり締めます。

# 運転前の点検

## エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。必ず給油してください。また、工場ですり運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外します。



- 2 オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ったあと、オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

- 3 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



- 4 オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。

|       |  |
|-------|--|
| 推奨オイル | 4サイクルガソリンエンジン専用<br>100%化学合成油 SAE10W-30<br>・寒冷地は5W-30 |
| オイル容量 | 1.1L   |

## 作動油の点検

作動油は出荷時には入っていません。必ず給油してください。また、工場ですり運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイルゲージを抜き取り、布などで拭取ったあと、オイルゲージキャップを取付け一旦締付けます。



- 2 再度オイルゲージを抜き取りオイル量を確認します。

- 3 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(上限)まであるか点検します。



- 4 オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。



|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 使用作動油 | ハイドロリックオイル<br>油圧用オイル32番 |
| 作動油量  | 4L                      |

# 運転前の点検

---

## ホッパー(投入口)、シュータ(排出口)の点検

異物、枝木などを確認します。

### ■点検手順

- 1 ホッパー(投入口)、シュータ(排出口)に異物、枝木などが入っていないことを、棒などを使って確認します。
- 2 異物や枝木などが残っている場合は、取除きます。



**危険**

・ホッパー(投入口)、シュータ(排出口)には絶対手を入れないでください。

## 潤滑油やグリスの塗布

可動部部分には、使用前に潤滑油やグリスを塗布する習慣をつけましょう。

# 運転操作の仕方

## 警告



### 禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・ホッパー（投入口）に何も入っていないことを確認してください。
- ・エンジン始動と同時に刃が動きますので注意してください。
- ・エンジン始動と同時に排出口からチップが排出されることがありますので注意してください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



### 指示

- ・回転している部分の近くに顔を近づけたり、手又は足を入れしないでください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

## 注意

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。



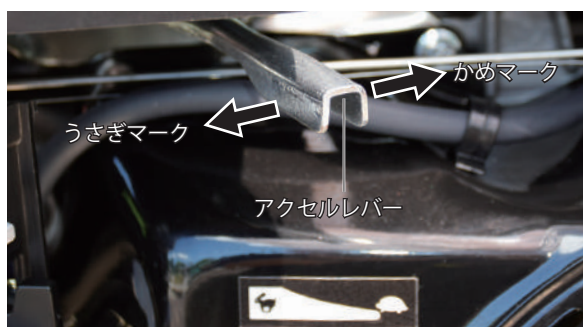
このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

出荷時には燃料、エンジンオイル、作動油は入っていません。給油後に操作をしてください。

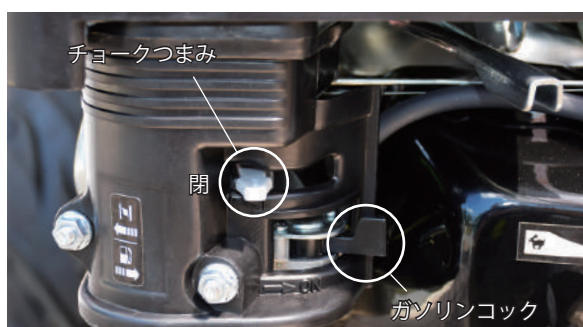
## エンジンのかけ方 (HG-GS-15SF)

### ■リコイルスターターの場合

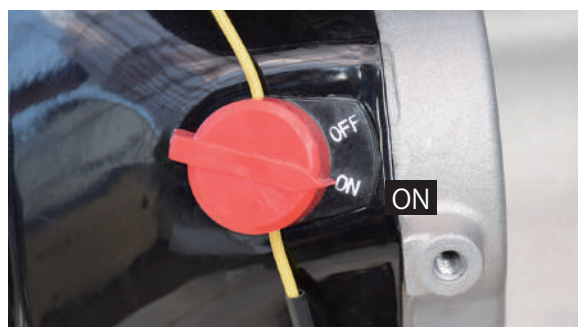
- 1** アクセルレバーを、「うさぎマーク」と「かめマーク」の中間にします。



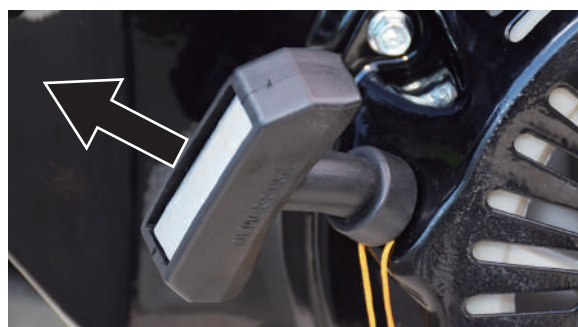
- 2** チョークつまみを左いっぱい(閉)にし、ガソリンコックを右いっぱい(ON)にします。



- 3** エンジンスイッチを ON にします。



- 4** リコイルスターターを引きます。

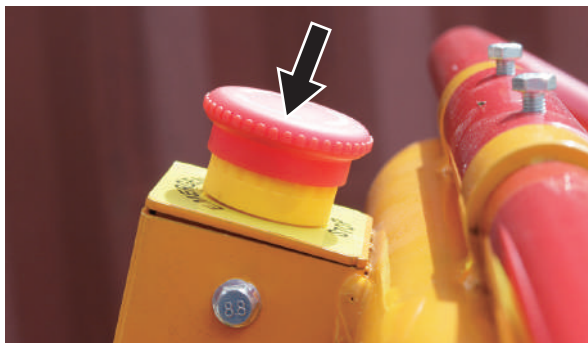


- 5** エンジンを起動後暖気運転を行い、運転状況を確認します。

- 6** 異常がなければチョークつまみを右(開)に戻します。

# 運転操作の仕方

- 7** ホッパー（投入口）上部の緊急停止ボタンを押し、エンジンが止まることを確認します。



- 8** 緊急停止ボタンを時計回りに回して解除します。



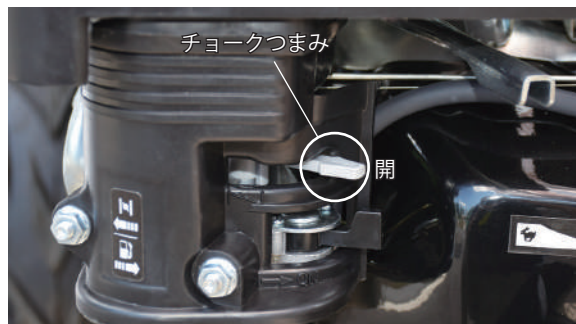
- 9** ホッパー（投入口）回りの安全バーを押し下げ、エンジンが止まることを確認します。



- 10** 安全バーが下がったままの場合は、押し上げて解除します。



- 11** チョークつまみを右（開）の状態でもリコイルスターターを引き、エンジンを再び起動します。



- 12** 10～20分程度慣らし運転をした後、アクセルつまみを「うさぎマーク」側にし、5分程度エンジンを回してください。



# 運転操作の仕方

## 警告



### 禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・ホッパー（投入口）に何も入っていないことを確認してください。
- ・エンジン始動と同時に刃が動きますので注意してください。
- ・エンジン始動と同時に排出口からチップが排出されることがありますので注意してください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



### 指示

- ・回転している部分の近くに顔を近づけたり、手又は足を入れしないでください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

## 注意

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。



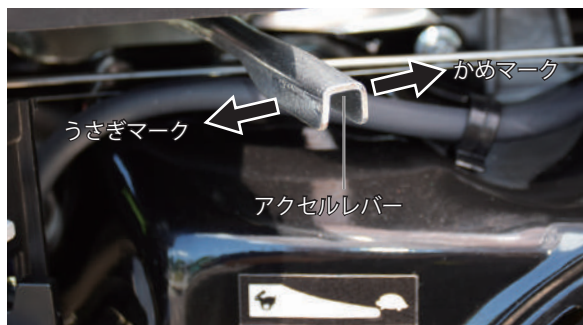
このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

出荷時には燃料、エンジンオイル、作動油は入っていません。給油後に操作をしてください。

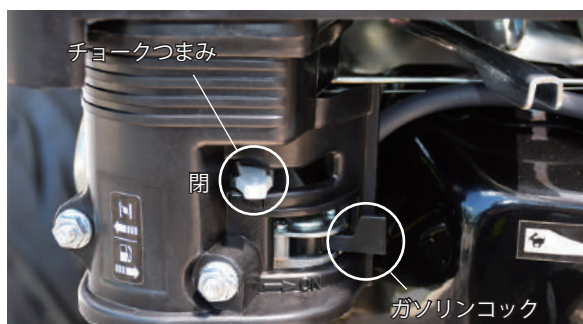
## エンジンのかけ方 (HG-GS-15SFE)

### セルスターターの場合

- 1 アクセルレバーを、「うさぎマーク」と「かめマーク」の間にします。



- 2 チョークつまみを左いっぱい(閉)にし、ガソリンコックを右いっぱい(ON)にします。



- 3 セルスターターのキーを「ON」にします。

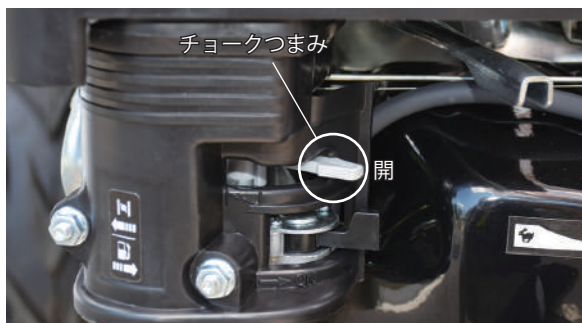


- 4 さらに、START 位置にすることでエンジンがかかります。(自動車のエンジンキーと同じです。)

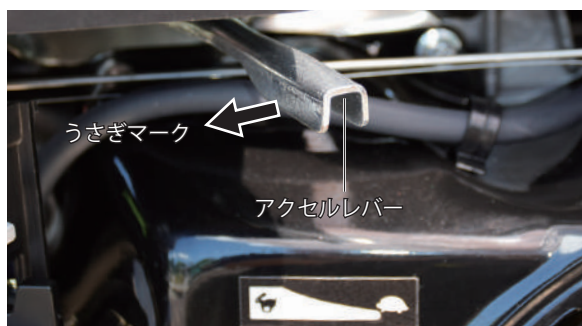


# 運転操作の仕方

- 5 エンジンがかかったら、チョークつまみを右に戻します。



- 6 10～20分程度慣らし運転をした後、アクセルつまみを「うさぎマーク」側にし、5分程度エンジンを回してください。



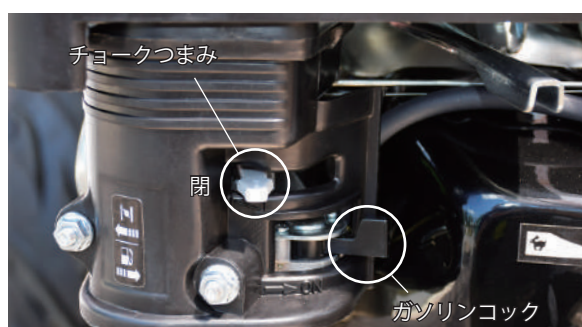
## エンジンのかけ方 (HG-GS-15SFE)

### ■リコイルスターターの場合

- 1 アクセルレバーを、「うさぎマーク」と「かめマーク」の間にします。



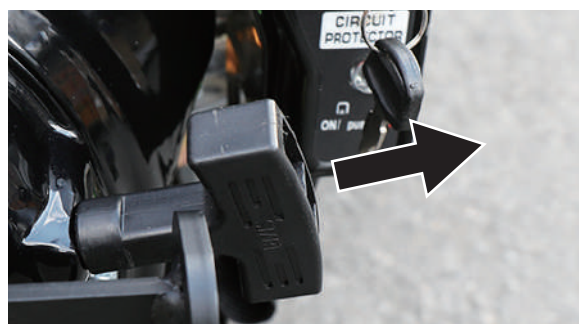
- 2 チョークつまみを左いっぱい(閉)にし、ガソリンコックを右いっぱい(ON)にします。



- 3 セルスターターのキーを「ON」にします。

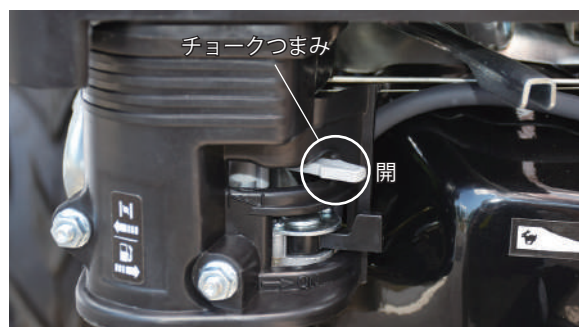


- 4 リコイルスターターを引きます。



- 5 エンジンを起動後暖気運転を行い、運転状況を確認します。

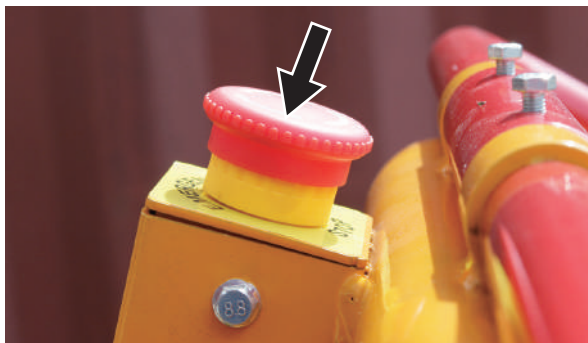
- 6 異常がなければチョークつまみを右(開)に戻します。





## 運転操作の仕方

- 7** ホッパー（投入口）上部の緊急停止ボタンを押し、エンジンが止まることを確認します。



- 8** 緊急停止ボタンを時計回りに回して解除します。



- 9** ホッパー（投入口）回りの安全バーを押し下げ、エンジンが止まることを確認します。



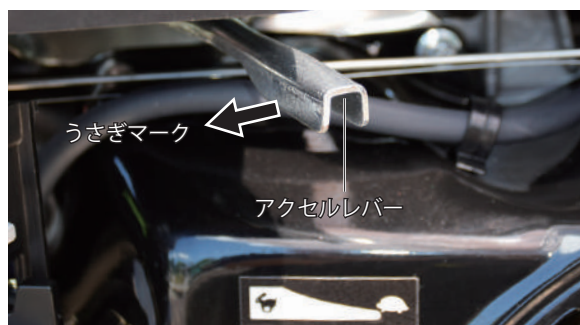
- 10** 安全バーが下がったままの場合は、押し上げて解除します。



- 11** チョークつまみを右（開）の状態でもリコイルスターターを引き、エンジンを再び起動します。



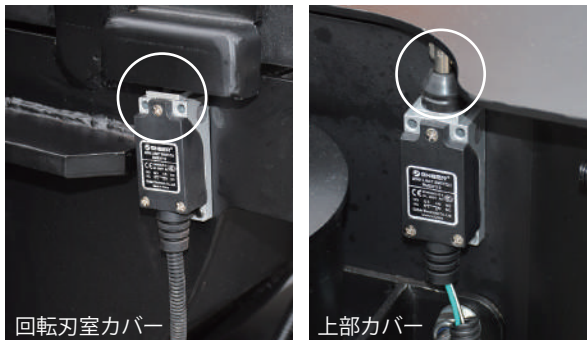
- 12** 10～20分程度慣らし運転をした後、アクセルつまみを「うさぎマーク」側にし、5分程度エンジンを回してください。



# 運転操作の仕方

## 安全装置

- 1 回転刃室カバーや上部カバーが開いている時は、安全装置が働き、エンジンがかかりません。エンジンをかける際は、カバーが確実に閉じていることを確認してください。



- 2 安全バーの安全装置が押された状態では、エンジンはかかりません。安全バーを押し上げ解除してください。

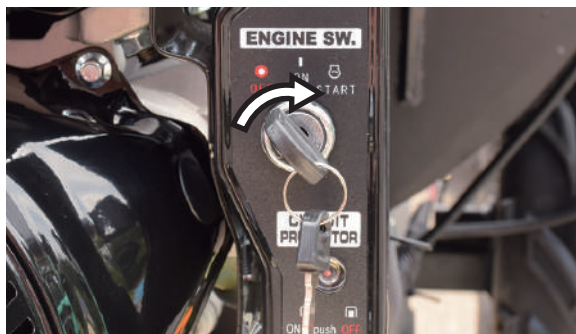


- 3 緊急停止ボタンが押されたままではエンジンはかかりません。時計回りに回して解除します。



## エンジンの止め方

- 1 投入した枝の粉碎残りが無いことを確認します。
- 2 セルスターターのキーを「ON」にします。



- 3 ガソリンコックを左いっぱい(OFF)にします。



## 👉 エンジンがかからない時

・緊急停止ボタンや安全バーが解除されていないとエンジンはかかりません。また、安全装置が働いている時もエンジンはかかりません。それでもかからない場合は、下記手順をお試しください。

1. 点火プラグキャップを外します。
2. 点火プラグを外します。
3. リコイルハンドルを数回引いて、シリンダ内を換気します。
4. 点火プラグを取付けます。
5. 点火プラグキャップを取付けます。
6. チョークつまみを右(開)にします。
7. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

# 運転操作の仕方

## ●粉砕作業の注意

作業は、「安全にお使いいただくために」を熟読の上、行ってください。

### 警告



#### 禁止

- ・身体の調が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ・ご使用時は、使用者から12m内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- ・太い枝が食い込んだときは必ずエンジンを停止してから取除いてください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・髪の毛、衣服等を回転部分、摺動部分、投入口、排出口に近づけないでください。
- ・金属、石、ビニール等異物を混入させないでください。思わぬ事故や本体の破損を招く恐れがあります。



#### 指示

- ・適切な時期に休憩をとってください。
- ・装置から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
- ・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

## 設置について

- 1 水平で安定した場所に設置してください。舗装地、砂利、その他硬い地面で使用すると、振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。

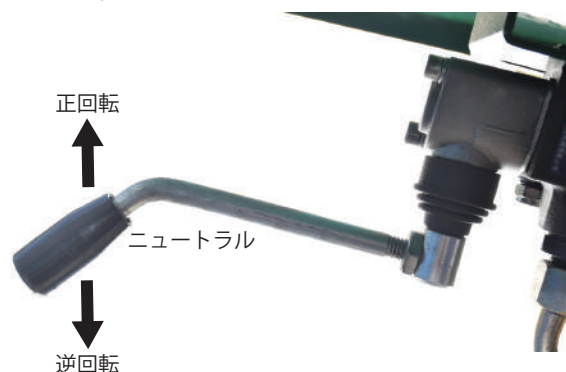


### 警告

- ・枝木を投入する際は、ホッパー（投入口）の正面に立たないでください。投入物が飛んでくる可能性があります。

## 粉砕作業

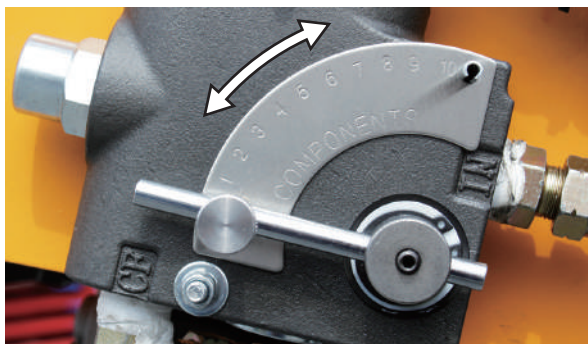
- 1 回転方向切替レバーを中央の「ニュートラル」にします。



- 2 エンジンを始動し、回転が安定していることを確認します。
- 3 回転方向切替レバーを押し上げ「正回転」にします。

# 運転操作の仕方

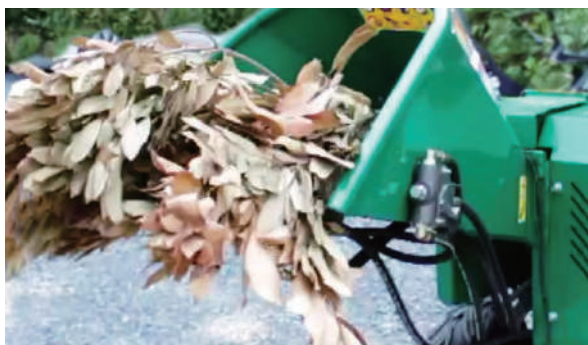
4 送り力調整レバーで速度の調整をします。



0 1 ——— 3 ——— 10  
停止 低速 中速(※)

※トルク（材料を送り込むための力）重視のため、3～10までの速度の変化はありません。

5 枝木をホッパー（投入口）へ投入し、粉碎が始まったら素早く手を放します。



## 警告

- ・運転中にホッパー（投入口）をのぞき込むことは危険です。絶対しないでください。
- ・安全装置を外すことは絶対にやめてください。

6 エンジンの回転を確認します。回転が著しく落ちたり、ベルトから異臭、異音が出た時は、緊急停止ボタンを押しエンジンを止めます。

## 注意

- ・そのまま使い続けると、ベルトが切れたり、ベルトから煙や火が出て大変危険です。

●枝木を一度に押し込み過ぎないでください。ホッパー（投入口）に詰ることがあります。

●根がついた木は粉碎しないでください。

●土がついた木は粉碎しないでください。

●濡れている木や竹は粉碎しないでください。また、乾きすぎた木は粉碎時飛散し、ホッパー（投入口）から飛び出すことがあるので粉碎しないでください。

●太い枝がついている樹木は、詰りの原因になります。太い枝は根元から切り離して投入してください。




# 運転操作の仕方

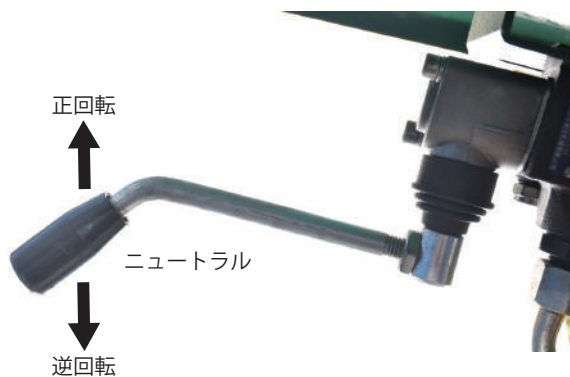
## ⚠ 警告

- ・エンジンは必ず切って行ってください。
- ・素手で詰まりを取除くことは、絶対に行わないでください。

## 枝木が詰まった時

 このQRコードを読み取ることで、「詰まりの対処方法」を動画でご覧いただくことができます。

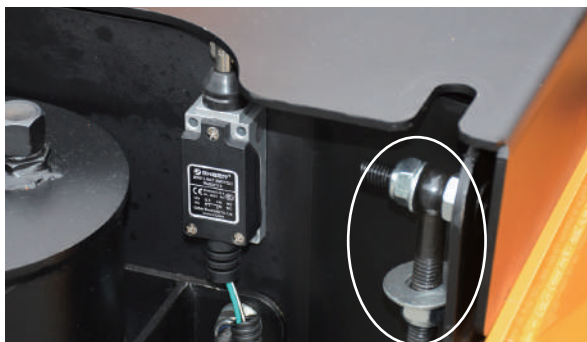
- 1 緊急停止ボタンを押し停止させます。
- 2 回転方向切替レバーを「正回転」から「ニュートラル」にします。
- 3 再度エンジンをかけ、回転方向切替レバーを下げ「逆回転」にします。



- 4 詰まった枝木が出てきますので、慎重に取除きます。

●上記の方法でも取除けない場合は、下記をお試しください。エンジンは停止したままで行ってください。

- 1 上部フタのナットを緩めます。



- 2 フタを開けます。



- 3 棒などを使い詰まった枝木を慎重に取除きます。



- 4 逆の手順で取付けます。  
上部フタは確実に閉めないで、安全装置が働きエンジンがかかりません。

●上記の方法でも取除けない場合は、P.36の方法をお試しください。

## ⚠ 注意

- ・直径121mm以上の太い枝・竹等は粉碎できず、詰まりの原因になります。
- ・120mm以下でも、硬さ、曲がり具合等によっては粉碎できずに詰まる場合があります。

# 運転操作の仕方

## シュータ(排出口)角度・向きの変え方

- 1 ナット又はノブレバーを緩め角度を調整します。調整が終わったら締付けます。



- 2 シュータ(排出口)の中間部分のボルト(13mm)を緩め、向きを調整します。調整が終わったら締付けます。



## 移動の仕方

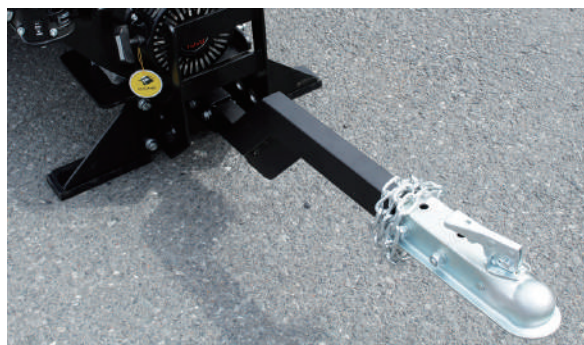
- 1 短い距離の移動であれば、タワーヒッチ部を持ち上げ移動させます。



### 警告

- ・不安定な場所での移動は行わないでください。本機が転倒し大変危険です。
- ・段差を乗り越えるような移動は行わないでください。本機が転倒し大変危険です。
- ・移動は1人では行わないでください。

- 2 タワーヒッチを牽引車に取り付け、移動します。  
※公道は走れません。



# 点検・整備の仕方

## 警告

- ・作業場の清潔、安全を常に確保してください。足を引っかける一切の障害物を撤去してください。
- ・粉砕機の作業場には必ず清潔、安全を守ってください。木材、ガラス、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管してください。
- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・本体は水平な場所に設置し、作業を行ってください。
- ・作業は、十分な採光のもとで作業してください。
- ・排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

## 警告

- ・緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。ガソリンが漏れると引火の危険があります。
- ・こぼれたガソリンは布などで、直ちに拭取ってください。



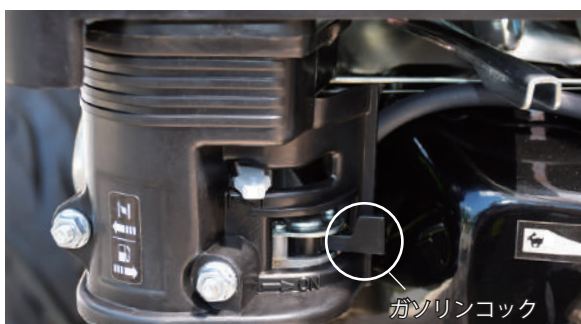
このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

## 燃料の抜き方

- 1 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。



- 2 ガソリンコックを右(ON)にします。



- 3 O部分の斜めについているボルトを緩めて、ガソリンを容器に受けます。キャブレターの燃料を抜くことができます。



- 4 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

# 点検・整備の仕方

## エンジンオイルの給油、点検

エンジンオイルの交換は、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

### ■エンジンオイル交換の手順

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にします。
- 3 廃油受けをドレンボルトの下に置き、ボルトを外してオイルを抜きます。その際、オイル給油キャップを外すと抜けやすくなります。



- 4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 5 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



- 6 給油後は、確実にキャップを締めます。

|       |   |
|-------|---|
| 推奨オイル | 4サイクルガソリンエンジン専用<br>100%化学合成油SAE10W-30<br>・寒冷地は5W-30 |
| オイル容量 | 1.1L  |

## グリスの塗布

本機の使用後は各部を清掃し、3 時間ごとに、軸受け部分にグリスを補給します。

- 1 モリブデングリス、グリス注入器を準備します。
- 2 側面のカバーを外します。
- 3 グリスキャップを外します。(上下)



- 4 ニップルの先端を拭いてから、ノズルに接続しグリスを注入します。



- 5 注入が終わったらキャップを閉め、側面カバーを取付けます。



# 点検・整備の仕方

## エアクリーナーの清掃

エアクリーナーのフィルタを清掃します。

- 1 エアクリーナーカバーの蝶ネジを外し、カバーを外します。



- 2 エアフィルタの汚れをエアブローア等で吹き飛ばします。  
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

## 点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

- 1 点火プラグキャップを外し、点火プラグをプラグレンチで取外します。



- 2 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



|             |             |
|-------------|-------------|
| 適応<br>点火プラグ | BPR7ES(NGK) |
|-------------|-------------|

- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

# 点検・整備の仕方

## 刃の交換

刃は消耗品です。刃が切れなくなると、本機に負荷がかかったり、枝木が詰まる原因になりますので、交換が必要です。

### 警告

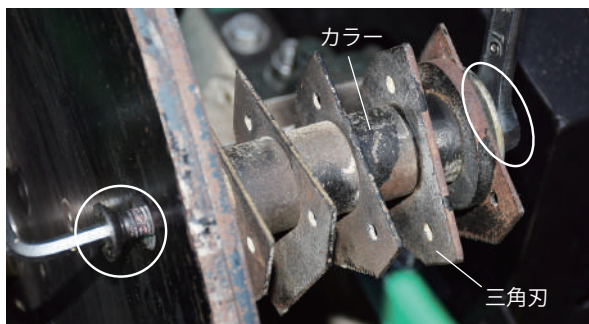
- ・刃の取扱いには、十分ご注意ください。
- ・刃の交換は、素手では絶対に行わないでください。

## ●三角刃の交換

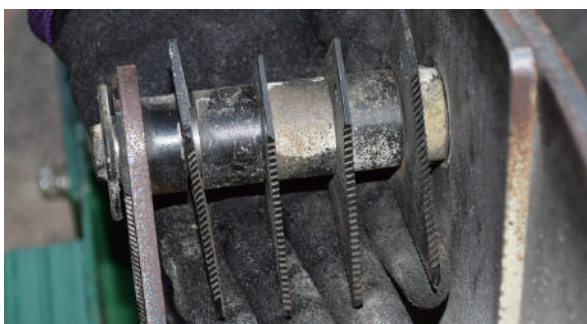
- 1 回転刃室カバーを開きます。



- 2 写真左側の六角ボルトには緩み止め剤を施していますので、バーナーなどで熱を加えて溶かします。写真の右側のボルトをスパナ等で固定し、左側の六角ボルトを慎重に外します。やけどに注意してください。



- 3 六角ボルトを引抜く際は、片手で三角刃やカラーが下に落ちないように手を添えながら慎重に行います。



- 4 片手で三角刃やカラーが下に落ちないように手を添えながら慎重にシャフトを引抜きます。



- 5 新しい三角刃を逆の手順で取付けます。その際六角ボルトに緩み防止剤を薄く塗り取付けます。

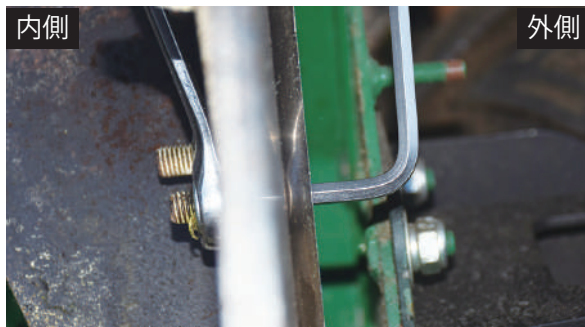
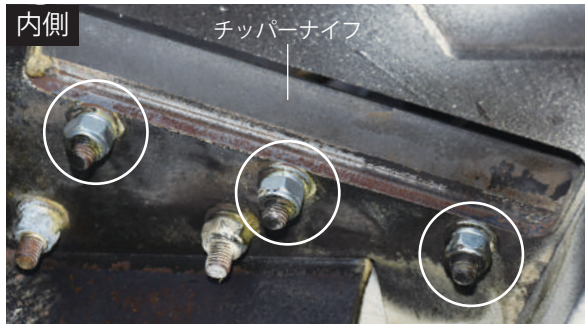


## ●チップナーナイフの交換

- 1 内側のナットを固定しながら、外側の六角ボルトを回し外します。(3カ所)



# 点検・整備の仕方



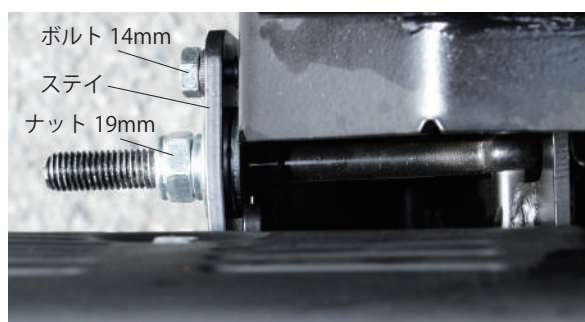
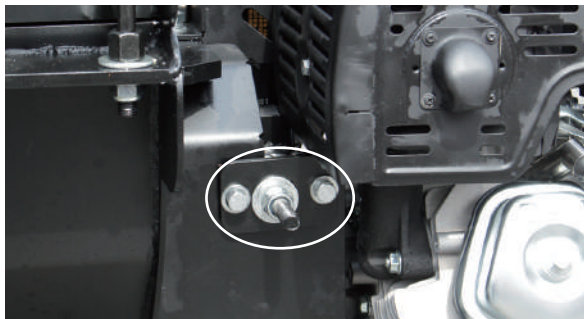
## ⚠ 警告

- ・チップーナイフはとても鋭利です。取扱いには、十分ご注意ください。
- ・刃の交換は、素手では絶対に行わないでください。

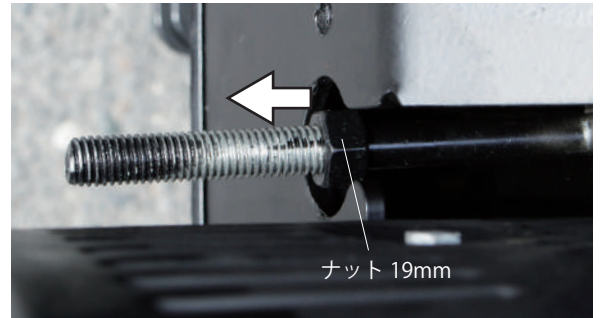
## 回転刃ベルトの張りの調整

使用していくうちにベルトが伸びます。その場合は張りの調整をします。

- 1 写真で見えているボルト、ワッシャ、ナット、ステイを外します。



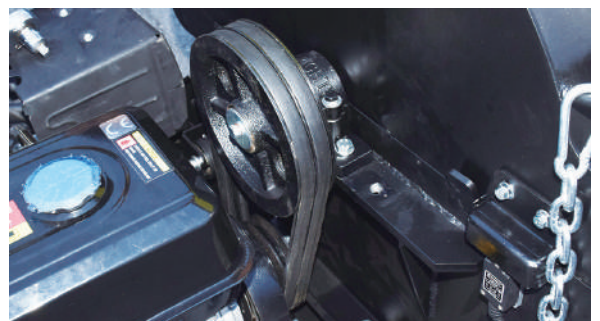
- 2 ナットを緩めます。大きく緩めると張りが強くなります。



- 3 内側のナットを緩めた状態でステイを取付け、左右のボルトを締付け、中央のナットを締付けることでベルトが押され、張りが復活します。



- 4 ベルトの張り具合を確認しながら行う場合は、ベルトカバーを外して行います。

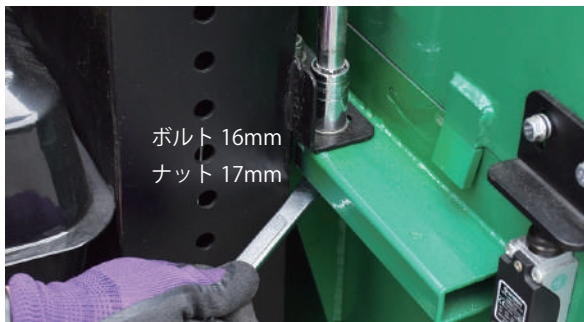


# 点検・整備の仕方

## 回転刃のベルト交換

ベルトの張り、亀裂、摩耗を確認し、不具合があった場合は、新しいベルトに交換します。

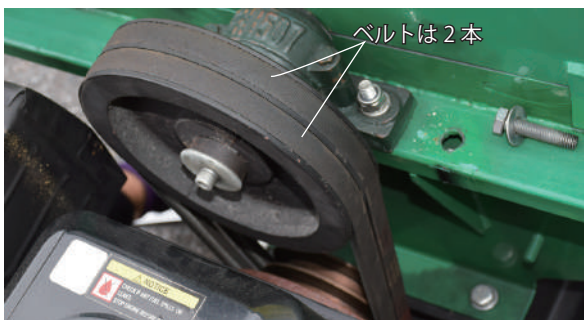
- 1** ベルトカバーを止めている 4 カ所のボルトを外し、ベルトカバーを取外します。



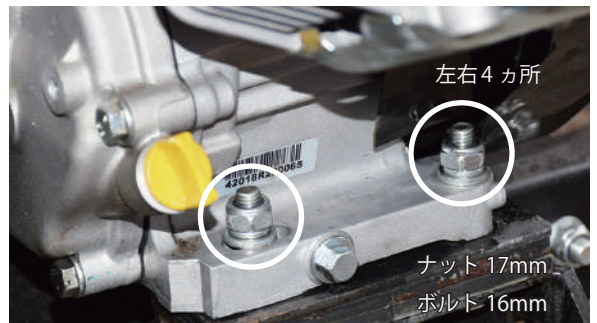
- 2** ベルトカバー左側下の側面のボルト、ナットを外し、ステイを外します。(右側はステイを取外す必要はありません。)



- 3** ベルトカバーを引抜くとベルトが見えます。



- 4** エンジン固定ボルト、ナット 4 カ所を外します。



- 5** エンジンのベルト側を少し持ち上げると、ベルトが緩み外れます。



- 6** 新しいベルトを交換したら、取外しと逆の手順で取付けます。

- 7** ベルトの張りを調整します。(P.35 参照)

# 点検・整備の仕方

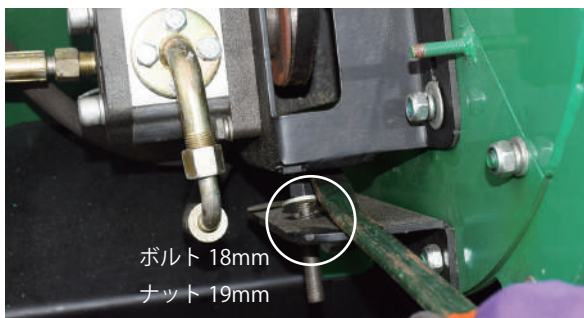
## 油圧ポンプのベルト交換

ベルトの張り、亀裂、摩耗を確認し、不具合があった場合は、新しいベルトに交換します。

- 1 側面カバーを外します。
- 2 油圧ポンプステイのナット3カ所を緩めます。



- 3 テンションボルトを緩め、パールなどで油圧ポンプステイを持ち上げるとベルトが緩み外れます。



- 4 ローラー軸部分を持ち上げると隙間ができ、上側のベルトが外れやすくなります。



- 5 新しいベルトを交換したら、取外しと逆の手順で取付けます。

## 油圧オイルの交換・補充

油圧オイル(作動油)は、100時間毎か、または1年に1回行ってください。

- 1 廃油受けを準備します。(4L以上入るもの)
- 2 キャップを外し、六角レンチでフィルタを外します。



- 3 手動式のポンプをご用意し、オイルを抜きます。



- 4 フィルタを戻し、新しい油圧オイル(作動油)を入れます。(オイルゲージで量を確認)



|       |           |
|-------|-----------|
| 使用作動油 | 油圧用オイル32番 |
| 作動油量  | 4.0L      |

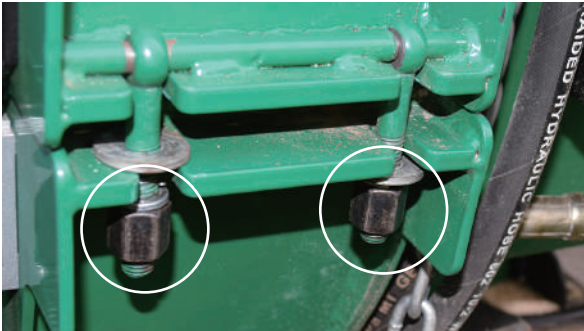
# 点検・整備の仕方

## ⚠ 警告

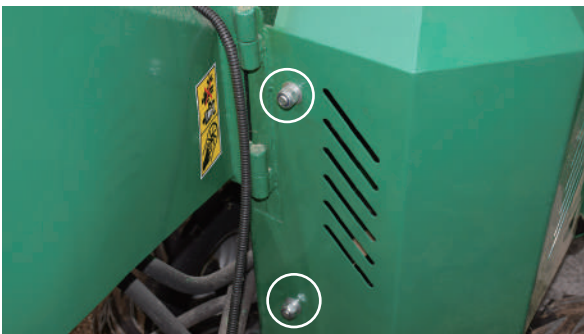
- ・エンジンは必ず切って行ってください。
- ・素手で詰まりを取除くことは、絶対に行わないでください。

## 枝木が詰まった時

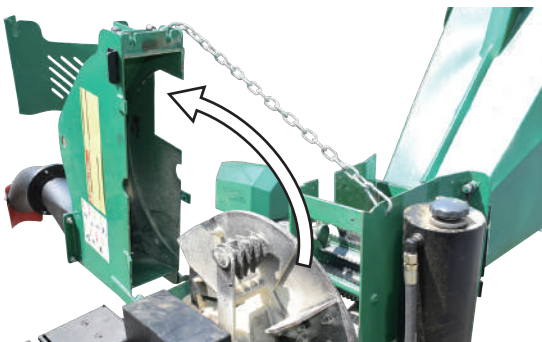
1 ナットを緩めます。



2 側面カバーのナット 2 カ所と上部 1 カ所を外します。



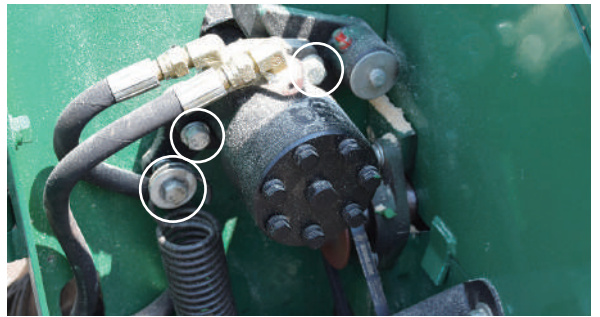
3 上部カバーをゆっくり開きます。



4 刃が枝木等に食い込んでいたら、棒等で刃を反時計回りに少し回し食い込みを外します。



5 ローラー固定ボルト、スプリング固定ボルトを外します。



6 ホッパー（投入口）を開け、ローラーをバール等で持ち上げながら、枝木等を引っ張り出します。



## 点検・整備の仕方

### タイヤの点検

25時間使用ごとに、タイヤの空気圧の点検を行います。

- 1 目視にて破損や亀裂が無いかを確認します。  
パンク、亀裂が見つかった場合は、修理または新品と交換してください。
- 2 タイヤの空気圧を確認します。  
空気圧は 1.5kgf / cm<sup>2</sup> (150Kpa) になります。



### 長期間使用しない時

粉砕機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置てください。
- 2 燃料タンク、キャブレタの燃料を抜きます。  
(P.31参照)
- 3 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4 エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 5 点火プラグキャップを外します。
- 6 チョークつまみを右（開）にします。
- 7 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

# 故障と思ったら

## ●エンジンがかからない

| 症状                             | 原因                     | 対処                |
|--------------------------------|------------------------|-------------------|
| 点火プラグに火花が出ていない                 | 始動スイッチボタンの不良           | 交換                |
|                                | 点火プラグ不良                | 交換 (P.33 参照)      |
|                                | 点火プラグ・キャップ接続不良         | 調整 (P.33 参照)      |
|                                | イグニッションコイルの不良          | 交換                |
|                                | 回転刃室カバーが開いている          | 閉める (P.26 参照)     |
|                                | オイルが少ない                | オイル追加 (P.21 参照)   |
|                                | 緊急停止ボタン、安全バーが押されたまま    | 解除する (P.22・25 参照) |
| キャブレターに燃料が来ていない                | 燃料がはいっていない             | 燃料を入れる (P.18 参照)  |
|                                | 燃料ホースの詰まり、漏れ           | ホース清掃、交換          |
|                                | 燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり  | 交換、フィルタ清掃         |
| キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない | キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着) | キャブレター分解掃除        |
|                                | オイルの入れすぎ               | オイル交換 (P.32 参照)   |
|                                | オイルにガソリンが混ざっている        | オイル交換 (P.32 参照)   |

## ●エンジンがかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

| 症状 | 原因                | 対処               |
|----|-------------------|------------------|
|    | エアフィルタの汚れ (白煙が出る) | 清掃又は交換 (P.33 参照) |

## ●エンジンの回転が高い

| 症状        | 原因     | 対処              |
|-----------|--------|-----------------|
| ベルトが滑っている | ベルトの緩み | 張りの調整 (P.35 参照) |
|           | ベルトに切れ | 交換 (P.36 参照)    |
|           | ベルトの摩耗 | 交換 (P.36 参照)    |

## ●ベルトあたりから煙や火が出た

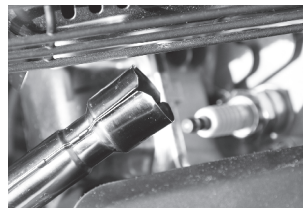
| 症状 | 原因                     | 対処                |
|----|------------------------|-------------------|
|    | 枝木が詰まりベルトに異常な負荷がかかっている | 詰まりを取除く (P.38 参照) |



# 故障と思ったら

**点火プラグの点検** ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

**先端が濡れている**

**先端は濡れていない**

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。

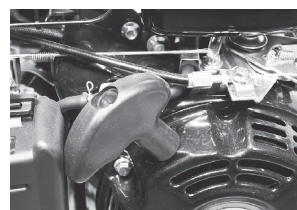


③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



**火花が出る**

**火花が出ない**

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

# 消耗品一覧

| 商品名                   | 商品コード            |   |
|-----------------------|------------------|---|
| ベルト<br>(回転刃用)         | b940lin          |  |
| ベルト<br>(油圧ポンプ用)       | a500lin          |  |
| 替刃 (チップナーナイフ)<br>2 枚組 | 15sf-pbladeassyn |  |
| 替刃 (三角刃)<br>5 枚組      | 15sf-p02assyn    |  |
| スプリング                 | 15sf-p54n        |  |

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。  
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

## 【見積り・注文の流れ】

### ■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

### ■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

|     |
|-----|
| 通信欄 |
|-----|

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年    月    日

|                                     |                                    |       |                                     |                                     |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> <b>見積り</b> | <input type="checkbox"/> <b>注文</b> | ご連絡方法 | <input type="checkbox"/> <b>FAX</b> | <input type="checkbox"/> <b>TEL</b> |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|

| 本製品ご購入お客様情報 |          |                      |  |
|-------------|----------|----------------------|--|
| フリガナ        |          |                      |  |
| 氏名<br>会社名   | 様        | ご購入時<br>登録の<br>電話番号  |  |
| ご住所<br>お届け先 | 〒      ー | 普段繋がり<br>やすい<br>電話番号 |  |
|             |          | FAX 番号               |  |

| お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。） |          |        |  |
|--------------------------------|----------|--------|--|
| フリガナ                           |          |        |  |
| 氏名<br>会社名                      | 様        | 電話番号   |  |
| お届け先                           | 〒      ー | FAX 番号 |  |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 代金お支払い方法<br>(お振込み期限 7 日)<br>いずれかにチェック<br>をお願いします。<br>手数料は、お客様<br>ご負担となります。 | <input type="checkbox"/> 銀行振込<br><input type="checkbox"/> 郵便振替<br><input type="checkbox"/> 代金引換 | みずほ銀行 館林支店 普通口座 1851252<br>ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181<br>代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円) | お振込先口座名義人は、<br><b>ハイガー・ハイグサンギョウ (カ)</b><br>となります。 |
|--|---|---|---|

## ★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

| 商品名 | 商品コード | 数量 | 単価 (税込) 円 | 金額 (税込) 円 |
|-----|-------|----|-----------|-----------|
|     |       |    | 円         | 円         |
|     |       |    | 円         | 円         |
|     |       |    | 円         | 円         |
|     |       |    | 円         | 円         |
|     |       |    | 円         | 円         |
|     |       |    | 円         | 円         |
| 備考  |       |    | 送料        | 円         |
|     |       |    | 代引手数料     | 円         |
|     |       |    | 合計        | 円         |





本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
  - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
  - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
  - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
  - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
  - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。  
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。  
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。  
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。  
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

### ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。  
**遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。**

### お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理<sup>\*1</sup>か、引取り修理<sup>\*2</sup>か、出張修理<sup>\*3</sup>かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

\*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。  
\*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。  
\*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

### ■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

### ■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

### ■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

### ■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日  
無休受付

カスタマー・サポート・センター  
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## 「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、  
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



**HAIGE**

ハイガー産業 株式会社

〒370-0603

群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。  
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を  
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50  
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW